

令和3年度脱炭素型フードサプライチェーンの可視化・ESG情報開示推進
委託事業フードサプライチェーンにおける脱炭素化の実践とその可視化の在り方検討会（第1回）

3. フードサプライチェーンにおける脱炭素化と その可視化に向けた調査等の進め方について

(2) 消費者にわかりやすい脱炭素の見える化について

2021.10.12



一般社団法人サステナブル経営推進機構

Sustainable Management Promotion Organization

(2)-1 本年度のゴール・論点 農産物のGHG簡易算定シートを利用した、 脱炭素の見える化ガイドを作成

【構成案】

- 農林水産分野における製品の脱炭素の背景・必要性
(2050年カーボンニュートラルに向けて)
- 製品の脱炭素の見える化の基本的な考え方
 - 農林水産分野の特徴
 - GHG簡易算定ツールの活用による削減アクションの実施
 - 見える化の意義
 - 見える化の種類
 - ・内容
 - ・方法
 - ・媒体
- 生産者の脱炭素アクションを消費者にわかりやすく伝えるために
 - 消費者が脱炭素製品を選択する際に必要な情報としての製品の脱炭素情報
 - データベースの構築、標準値の整備
 - 見える化情報の信頼性の確保

(2)-2 今年度の進め方（全体像）

① 脱炭素化アクションによるGHG削減量・吸収量を定量化

農業生産における
脱炭素化アクション

脱炭素化アクションを実施

- ・稲作中干し・間断灌漑
- ・化学肥料の削減/減農薬
- ・省エネ・再エネ活用
- ・バイオ炭の施用
- ・他

② 農業生産者等がGHG削減量・吸収量を把握するGHG簡易算定シートを作成

算定シ
ートによる
見える化

標準的なGHG排出量

GHG排出量基礎データ
(従来生産プロセス標準
モデル値)

個別のGHG削減・吸収量

- ① GHG削減・吸収量基礎データ
(脱炭素化アクションの標準モデル値) and/or
② 自ら生産する農産物等のGHG削減・吸収量データ
(生産者ごとにGHG削減・吸収量データを収集)

=

GHG削減・吸収効果

③ ②を利用した製品の脱炭素の見える化ガイドを作成（消費者にわかりやすい脱炭素の見える化）

消費者が脱炭素製品を選択する際に見える化の種類

内容

- ・GHG排出量・削減量
(製品・事業者の排出量・削減量)
- ・GHG削減効果
(標準との比較、経年比、自社比)

×

方法

- ・数字による表示(● kg-CO₂排出・削減)
- ・基準適合(● 割以上削減)
- ・定性的な説明
(従来品に比べてGHGを削減、脱炭素を実施)

×

媒体

- ・商品(ラベリング、QRコード)
- ・店頭(値札、POP・ポスター)
- ・ウェブ(スマホアプリ、ホームページ)

(2)-3 脱炭素の見える化ガイド：ねらい

生産者・
食品製造
事業者
・TCFDに
おいて具
体的削減
アクションが必要



農産物のGHG簡易算定シート

内容	方法	媒体
○GHG排出量・削減量 ・製品の排出量・削減量 ・事業者の排出量・削減量 ○GHG削減効果 ・標準との比較 ・経年比較 ・従来の自社製品との比較 ○GHG吸収・貯留量 ○化石資源代替の効果	○数字による表示（絶対量） ・●kg-CO2排出・削減 ○基準適合 ・従来品に比べてGHGを ●割以上削減 ○定性的な説明 ・従来品に比べてGHGを削減 ・脱炭素を実施	○商品 ・ラベリング ・QRコード ○店頭 ・値札 ・POP・ポスター ○ウェブサイト ・スマホアプリ ・ホームページ

×

×

各生産・製造サイトにおけるGHG削減アクションを製品のGHG排出量に紐づけ情報発信する。



消費者を含むステークホルダー

今年度事業のゴール：農産物の簡易算定シートを利用した脱炭素の見える化ガイドを作成する。

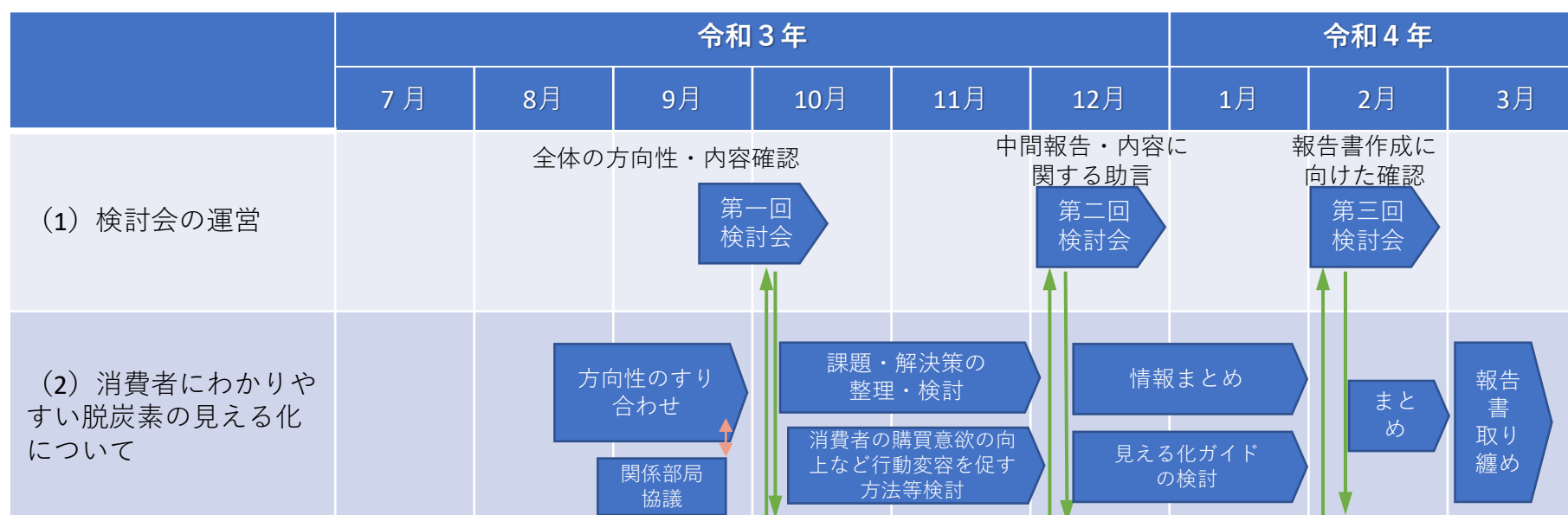
最終ゴール：消費者が脱炭素製品を選択する際に必要な情報を提供する。

(2)-4 実施項目およびスケジュール

実施項目

- (2)-1 消費者にわかりやすい脱炭素の見える化の内容、方法、媒体の種類と課題を整理
- (2)-2 GHG簡易算定シートを利用した脱炭素の見える化ガイドを作成

スケジュール



(2)-5 ①参考事例

フランスにおける消費者向けの環境ラベル実証プロジェクト

フランスは、欧州委員会が進める環境フットプリント活用を検討に並行して、国内で消費者向け実証プロジェクトを実施中。

- 環境連帯移行省（Ministère de la Transition écologique et solidaire）のミッションレターに従い、ADEME は衣類や電子機器とともに食品部門を対象とした環境ラベルの実証プロジェクトを実施中。
- 実証期間は2020 年2 月から2021 年8 月まで。消費者に対する情報提供の方法のテストを実施。またテストの副次的な目的として消費者への情報提供による食事習慣の変革、農業生産者等を含む食料や生産方法・サプライチェーンの改善の検討を実施。
- 科学評議会によるプロジェクトの評価とりまとめは2021 年11 月を予定。

製品のパッケージに適用する2つの表示。数字（最も低いインデックスが最高の環境性能を示す）またはA、B、C、D、Eでの表示。Aは最も高いスコア。このフォーマットにより消費者が同じ分野の製品を比較できるようになる。



各環境指標の結果を別々に表示

(2)-5 ②参考事例 GHG排出量の各種カリキュレーター

GHG排出量の各種カリキュレーター（確認中）

名称	国	企業向け	消費者向け
Ducky	ノルウェー	個別提供	一般公開
terappas	米国		一般公開
Pawprint	英国		一般公開
Doconomy	スウェーデン	一般公開	

◆ Doconomy(ドコノミー)

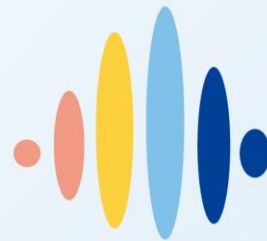
The 2030 Calculator



目的	スウェーデンのテック企業「Doconomy」が、企業向けに、CFPを迅速かつ正確に算定できるツールの無料提供を通して、導入企業のCFP開示による他ブランドとの差別化や消費者がより環境負荷の少ない製品を選ぶ動機付けを行う支援を実施
概要	企業にとって複雑だったCFP算定を、製品名や総重量、パッケージの有無などの情報を入力するだけで、結果が数分でわかる上にコストがかからないツールを公開
算定可能対象製品	- 現在のβ版ではアパレルとシューズのみ算定可能 - 今後、食品・飲料品や家具、家電製品を含む製品等に拡大予定
算定方法	- 製品重量、製品カテゴリー、包装の有無をツール上で記入・選択 - 製品の各部材の素材、部材重量、販売場所、輸送手段を記入・選択 - 製造場所、工場の電力、電力消費量、ロジスティックスの所在地、輸送手段を記入・選択
国	スウェーデン（WEB上でβ版を公開）
その他	Doconomyは、消費者が購入した商品のCFPが上限に達するとクレジットカード自体の利用が制限されるカード「DO Black」とアプリ「DO」を立ち上げ、気候変動問題の解決に向けた取り組みを展開

<https://www.2030calculator.com/>

さんぽ わざ
心豊かな未来をSuMPOの業で創ります



SuMPO

Sustainable Management Promotion Organization

一般社団法人サステナブル経営推進機構

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1

三井住友銀行神田駅前ビル

ホームページ <https://sumpo.or.jp>